

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.35	-0.08
JPY/THB	0.2248	-0.0011
USD/JPY	161.69	0.36
EUR/THB	39.36	-0.03
EUR/USD	1.0830	0.0017
USD/CNH	7.292	0.004
SGD/THB	26.94	-0.02
AUD/THB	24.52	-0.04
USD/INR	83.53	0.04
USD Index	105.05	-0.08

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.391	-0.044
10Y (THB)	2.633	-0.031
5Y (USD)	4.237	-0.005
10Y (USD)	4.284	-0.012

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,379.7	11.8
WTI (Oil)	82.10	0.69
Copper	9,905.0	36.0

Stock

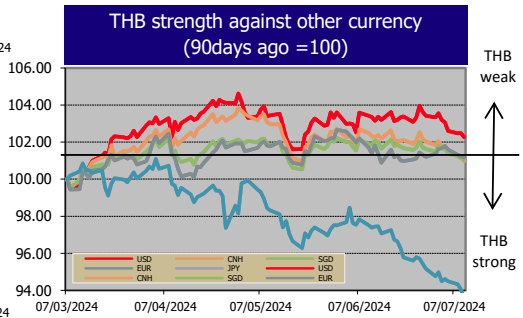
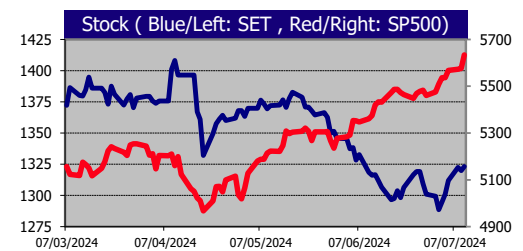
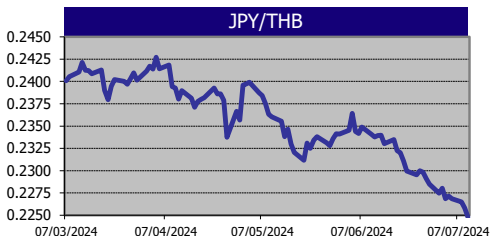
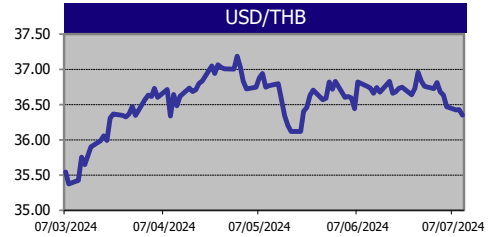
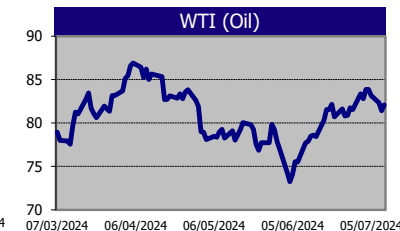
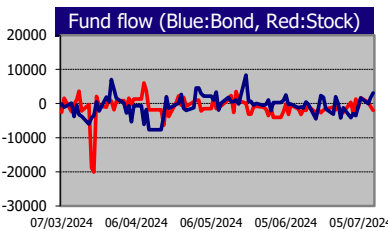
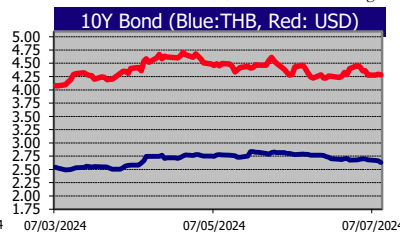
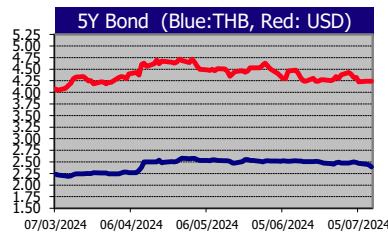
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,323.28	3.36
NIKKEI (JP)	41,831.99	251.82
DOW (US)	39,721.36	429.39
S&P500 (US)	5,633.91	56.93
SHCOMP (CN)	2,939.36	-20.01
DAX(GER)	18,407.22	171.03

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,048)	-1131.7
Bond net flow	3,136	1397.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは僅かに下落。36パーツ台前半で取引を開始。朝方中国6月のCPIは市場予想を下回ったヘッドラインを受けて人民元安となる中、パーツも連れ安となり、ドルパーツは小幅上昇したが、午後タイ財務相が中銀に住宅ローン規制の緩和を検討するよう要請、との報道を受けて値を戻す動きとなった。海外時間では米6月CPIの発表を控え、様子見ムードが広がり、方向感なく推移し、36.35レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円161円半ばを挟んだ高値圏での推移。前日FRB議長証言後のドル買い流れが継続し、事業会社の決済が集中する五・十日に伴うドル需要も円安圧力となり、東京時間正午にかけてドル円はじりじり上昇し、161円台後半を付けた後、小幅反落した。午後日経平均が最高値を更新したが、ドル円相場への影響は限定的となり、ドル円は狭いレンジ内で推移した。海外時間ではユーロ円が高値を更新する動きを横目にドル円も上昇したが、本日東京時間夜に米6月CPIの発表を控え、積極的な取引は手控えられ、161.69レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、日経平均株価とTOPIXがともに終値ベースで史上最高値を更新した。本日も勢い止まらず、日経平均は初の4万2000円台に突入している。今週に入ってから目新しい材料があったわけではないため、ハイテク関連が好調な米株の影響や、先週末の米6月雇用統計を機に米国の利下げ観測が強まり、昨日までのパウエル米FRB議長の議会証言を経ても、利下げ期待が維持されていること等が背景にあるのだろう。米国での経済ソフトランディング期待と利下げ期待、日本でのリフレ期待が同時に高まっている足元の状況は、株式市場にとっては心地よい地合いと言える。他方、こうした期待はあくまでも期待であり、今後の経済データ次第で状況はどうにも変わりうる。その点、本日米国時間に発表される米6月CPIは注目度が非常に高い。現状7割程度の織り込みとなっている米国の9月利下げ開始シナリオが確信に近づくかが焦点となりそうだが、強弱どちらの結果であっても株式市場のボラティリティを高める可能性に留意。また、為替市場については、7月以降ドル安地合いが続いているにも拘わらず一向に安値圏から抜け出せない円相場も、投機筋のポジションが歴史的な水準まで偏っている(米CFTC発表の7月2日時点の円売り越し幅は07年に次ぐ過去2番目の大きさ)という点で危うさを孕んでおり、米CPIの結果次第では値幅を伴う動きもありうるため、注意が必要だろう。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.